

# 経済日誌

4月

P=ポイント

国内		県内	
3日	<b>3月日銀短観、大企業製造業の景況感5四半期連続悪化</b> 日銀の3月の全国企業短期経済観測調査で、大企業製造業の業況判断指数(DI)は、前回調査(2022年12月)比6P低下のプラス1と5四半期連続の悪化。先行きの判断指数は2P上昇のプラス3。	1日	<b>県屋外型トレーニングセンター運用開始</b> 旧シーガイア・オーシャンドーム(宮崎市)跡地に整備された「アミノバイタルトレーニングセンター宮崎(県屋外型トレーニングセンター)」の運用が開始された。今後、国内外のトップアスリート等の合宿などが期待される。
7日	<b>2月家計調査、実質消費支出4カ月ぶりにプラス</b> 2月の家計調査によると、1世帯当たりの消費支出(2人以上の世帯)は27万2,214円。物価変動の影響を除いた実質で前年同月比1.6%増と4カ月ぶりにプラスに転じた。	6日	<b>霧島酒造、サツマイモ基腐病対策で甘藷苗生産へ</b> 霧島酒造(株)は、サツマイモ基腐病拡大防止対策とさつまいもの研究開発を目的とした「甘藷種苗生産施設(仮称)」を建設することを発表。敷地面積1万7,565㎡で総工費約14億円のプロジェクト。
7日	<b>2月景気動向一致指数、6カ月ぶりに改善</b> 2月の景気動向一致指数(CI、速報値、2015年=100)は、半導体供給不足が解消に向かい、自動車生産が伸びたことなどから、前月比2.8P上昇の99.2と6カ月ぶりに改善。	7日	<b>日之影町、ゼロカーボンシティへスプールと連携協定</b> 日之影町は、同町の地域資源や機能を活用したゼロカーボンシティへの実現へ向け、㈱エスプール(東京都)と包括連携協定を締結。2万5,000トンのCO <sub>2</sub> 排出量削減と経済好循環に向けて共に取り組む。
9日	<b>日銀、植田和男新総裁が就任</b> 日本銀行の新総裁に経済学者初となる植田和男氏が就任。金融緩和路線を継承しつつ、緩和の長期化に伴う副作用への対応に取り組む。副総裁には内田眞一氏と氷見野良三氏が就任。	10日	<b>県、JA経済連、旭化成、持続可能な循環型農業で連携協定</b> 県は、国内バイオマス由来の有機液肥を利用した施設園芸システムの事業化を図り、本県農業及び農業関連産業の成長に寄与することを目的に、宮崎県経済農業協同組合連合会及び旭化成(東京都)と連携協定を締結。
10日	<b>2月国際収支状況、経常収支2カ月ぶりの黒字</b> 2月の国際収支状況(速報)によると、貿易や投資などの海外との取引状況を表す経常収支は2兆1,972億円と2カ月ぶりの黒字。円安・資源高は一服しているが、資源輸入額の高止まりで貿易収支は6,041億円の赤字。	13日	<b>県産完熟マンゴー初競り、2個入り1箱過去最高の60万円</b> 県産ブランド完熟マンゴー「太陽のタマゴ」の初競りが全国29市場で一斉に行われ、2個入り1箱が過去最高の60万円で落札。ブランド誕生25年の節目を飾った。
10日	<b>3月景気ウォッチャー調査、景況感2カ月連続改善</b> 3月の景気ウォッチャー調査によると、景気の現状判断指数(DI、季節調整値)は前月比1.3P上昇の53.3と2カ月連続で改善。家計動向関連、企業動向関連、雇用関連のすべての指数が上昇。	14日	<b>高千穂町、ソラシドエアと包括連携協定</b> 高千穂町は、㈱ソラシドエアと地域社会発展に寄与することを目的とした包括的連携協定を締結。同町は同社の地域振興・機体活用プロジェクト「空恋～空で街と恋をする～」の31番目のパートナーとなった。
10日	<b>3月全国企業倒産件数、3年8カ月ぶりの800件台</b> 3月の全国企業倒産件数(負債額1,000万円以上)は、前年同月比36.4%増の809件と3年8カ月ぶりに800件台となった。新型コロナウイルス関連倒産件数は、同53.6%増の318件。	17日	<b>新富町、バイオマスリサーチと連携協定</b> 新富町は、家畜ふん尿等を活用した集中型バイオガス発電による資源循環システムを構築することを目的とする連携協定をバイオマスリサーチ(北海道)と締結。
12日	<b>2022年総人口、1億2,494万7,000人</b> 我が国の2022年10月1日現在の外国人を含む総人口は、推計で前年比0.44%減の1億2,494万7,000人と12年連続の減少。東京都を除く46道府県で減少。沖縄県は日本復帰後初の減少。	19日	<b>県、農業資源循環事業で双日と連携協定</b> 県は、双日(東京都)と農業資源を活用した資源循環事業に関する連携協定を締結。ハコヤナギやソルガムを原材料とするバイオマス燃料や家畜飼料加工といった資源循環に向けた実証に取り組む。
20日	<b>2022年度貿易統計、貿易収支赤字幅過去最大</b> 2022年度の貿易統計(速報)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は▲21兆7,285億円と2年連続の赤字で、赤字幅としては過去最大。世界的な資源価格の高騰や21年度から進んだ円安も響いた。	22日	<b>G7宮崎農業大臣会合開催</b> 4月22日～23日に、宮崎市でG7(主要7カ国)農業大臣会合が開催された。会合での議論を取りまとめたG7農業大臣声明とともに、G7各国が取り組むべき行動を要約した「宮崎アクション」が採択された。
25日	<b>4月月例経済報告、国内景況感4カ月連続据え置き</b> 4月の月例経済報告では、個人消費や企業の業況判断などの指標が持ち直したことを踏まえ、国内経済の基調判断を「一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」と4カ月連続で据え置いた。	22日	<b>道の駅「都城 NiQLL(ニクル)」リニューアルオープン</b> 都城市都北町の道の駅「都城 NiQLL(ニクル)」がリニューアルオープン。直売所などを備えた地域活性化の拠点で、県内唯一の「防災道の駅」として大規模災害時における広域的な防災拠点の機能を担う。